

健康的なオフィス環境

社員が安心して働けるオフィス環境づくりに向けて、以下の取り組みを実施しています。

取り組み	内容
オフィス環境	◆長時間の着座でも疲れにくいサポート感と安定性を提供する人間工学に基づいた椅子を導入するなど、オフィス環境に配慮。
	◆毎月2回、産業医が職場巡視を実施。安全衛生上の問題点を点検。
照明	◆照度センサー、人感センサー、調光コントローラーによる自動調光を行っており、平均照度(700lux)を保持。 ◆太陽光の強度・入射角度に応じた自動制御のブラインドの利用により、照度の安定と節電を実施。
騒音	◆LED照明を採用。従来の蛍光灯と比較して照明エネルギーを46%削減。
	◆ビルの外壁には、断熱性、遮音性が高まるダブルスキン構造が採用され、省エネを図ると共に快適性を向上。標準窓負荷を37%削減。
室内空気質	◆換気設備は、外気条件の良い時に実務室内に外気を自然流入させる省エネシステムとなっており、システム稼働時には室内からの排熱を外気に放出でき、空調機における処理熱量が削減され、エネルギー消費の低減に寄与。
	◆当社が入居している飯野ビルは、環境性能最高クラスのビルとして管理・運営を進めている他、2014年に「第52回 空気調和・衛生工学会技術賞」を受賞するなど、省エネルギー性能が高い。毎月、イイノ・ビルテック株が空気環境測定を実施し、当社は報告書を入手。
温度・湿度	◆外装ダブルスキン内に電動ブラインドがビル設備として設置されており、ブラインドの上下、確度調整等は、日照条件に合わせた自動制御。
	◆デシカント空調機を採用。クールビズなどのため室温を高めを設定しても、低湿で快適な環境を実現。 ◆空調エネルギーを10%削減。